

マレー系来場者も増えるマレーシア旅行博 ～関心は花・自然～

シンガポール事務所

3月13日～15日に MATTA Fair 2015 がクアラルンプール市で開催されました。アジア圏を中心に世界の国や地域から 175 団体の出展があり、日本からも日本政府観光局（JNTO）が設置したジャパンパビリオン内に 24 団体が出展をしました。自治体国際化協会シンガポール事務所は、ビジットジャパブース（VJブース）において、JNTO シンガポール事務所と連携し、観光 PR を実施しました。現場で見たマレーシア訪日旅行市場の状況を報告いたします。

1、盛況なジャパンパビリオン！

マレーシアからの訪日旅行者は近年急激な伸びを見せています。ジャパンパビリオンにも多くの来場者が情報収集に訪れました。パビリオン内にはミニステージが設けられ、現地での人気タレントが日本への旅行について語り、来場者の注目を集めていました。

表 マレーシアからの訪日旅客数の推移（出典：JNTOウェブサイト）

年次	2012年	2013年	2014年
訪日旅客数	130,183人	176,521人	249,500人
前年比増加率	+59.7%	+35.5%	+41.3%

※2013年7月に短期滞在ビザが免除



けん玉を披露するマレーシア人



人気タレントと写真を撮る来場者

2、来場者の関心は？

VJブースを訪れた多くの人は訪日旅行が初めてで、以下のような質問が多く聞かれました。

- ・日本の観光地について全く知らないなので、お勧めを教えてください。
- ・東京や大阪、富士山を含めて、旅程の提案をしてほしい。
- ・往復の航空券は予約したので、その間の旅程を提案してほしい。
- ・桜はいつ見られるのか。
- ・北陸新幹線が開通した金沢について教えてください。
- ・宿泊先を紹介してほしい。
- ・公共交通機関の乗り方、乗り継ぎ、時刻等。

質問の内容からFIT旅行者が多いことがうかがえます。旅行日数は8日前後、旅行時期は4～5月、11～12月が多かったです。また、花や自然への関心が高く、温泉や日本食についての質問はほとんどありませんでした。



来場者からの質問に対応するスタッフ

3、各ブースにおけるPRの特徴

ジャパンパビリオンへは中華系マレーシア人の来場者が多かったのですが、マレー系マレーシア人の来場者が増えていると感じました。これに対応すべく、ムスリム向けの旅程案をパンフレットにして配布しているブースや、豚や酒を調理場で使っていない市内のレストランを案内するリーフレットを配布しているブースもありました。

出展形態として、北海道は3団体でまとめ、中部地区はセントラルジャパンとして、山梨・神奈川・静岡も富士伊豆箱根とブースを繋げてPRする等、広域でのプロモーションをしているブースが見られました。来場者の質問は特定の地方についてよりも様々な地域についてのものが多いため、来場者のニーズに合った出展方法とも言えます。

特徴的な出展形態として、今回も三重県はマレーシア現地旅行会社と連携して展開しており、忍者をテーマにした体験旅行を提案していました。同様のMATTAでのPR活動は3年目となるそうです。

各ブースにおける来場者の反応等について聞き取りを行いましたのでご紹介します。

ブース名	内容
北海道	<ul style="list-style-type: none"> • 夏の旅行に向けてのプロモーションを行っている。主に花などのPR • 例年よりもF I Tが増えている印象がある • 交通手段についての問い合わせが多い。特にレンタカーの場合は英語のナビがついていることが重要 • ブースに来る人はほとんどが中華系だが、マレー系の方も増えている印象
沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> • 現時点では知名度がまだ低いと感じる • 沖縄への交通手段の質問を受ける（日本、香港、台湾経由を紹介） • ピンポイントで沖縄を訪れたいという人はほとんどいないようである • パンフレット等で紹介すると、海には興味を持つようだが食にはあまり興味をひかれなかった
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> • 東京、大阪から行くにはどれくらい時間がかかるかといった質問が多い • 韓国から近いため、フェリーについても質問も多い • ムスリムの食事を紹介するパンフレットも作成している • 5月に藤の花が見ごろになるので、そのPRに力を入れている
東急電鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> • アクセスやショッピングに関する質問が多い • マレー系の方の来場も多い • チケットだけを買って現地で何をすべきかという質問も受ける • ブースではW i f iを設置し、「いいね」を押してもらっている。目標の1,000件をほぼ達成することができた
新関西国際空港(株)	<ul style="list-style-type: none"> • 目的地までの移動について細かいことを聞いてくることが多い • R a i lパスに関する質問も多い • 関東からのアクセス、桜の見ごろなど • マレー系と中華系の来場者は半々という印象

4、最後に

ある現地旅行代理店から、桜のシーズン等はバスや宿泊先の確保ができない状況と伺いました。受け入れ体制のサポートなど周辺自治体や地元観光業関係者との連携もオールジャパンとして海外に売り込むために必要なことかもしれません。

当事務所では、引き続き現地の最新情報を発信してまいりますので、どうぞご活用ください。

<MATTA FAIR Kuala Lumpur 2015>

概要	一般消費者向けの旅行博。3月と9月の年2回開催。
開催日程	2015年3月13日～15日
開催場所	Putra World Trade Centre (PWTC)
主催	マレーシア旅行業協会 (Malaysian Association of Tour & Travel Agents (MATTA))
来場者数	90,000人 (3日間の計)
日本パビリオンへの出展団体	富良野・美瑛広域観光推進協議会、(公社)北海道観光振興機構、国土交通省中部運輸局、(公社)びわこビジターズビューロー、北陸信越運輸局、東北観光推進機構、和歌山県、富士箱根伊豆国際観光テーマ地区推進協議会、神奈川県、千葉県、鳥取県、福岡県、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、民間事業者11団体

(太田所長補佐 浜松市派遣)